

学年	高校2年	教科	数学
コース	本科/MST	科目	数学B
時間数	3時間/週		

重視したいコンピテンシー

探究心	新しい事実を学んだとき、なぜそれが成立するのかを自発的に、かつ論理的に考えようとする。
問題解決能力	与えられた問いに対して、正しい推論を元に、答えを導いていこうとする。
コミュニケーション	他者の考えを知り、自分の考えをより深いものへと変えようとする。

3	学んだ定義、定理から新たな定理を自分で発見することができる。	問題を解く際に、様々な発想から複数の解法を考えることができる。	正しい推論をすすめるために、自分が持っている知識と、事実としておさえている部分を整理することができ、次に学ぶべきことが自発的に理解できる。
2	扱った定理がなぜ成り立つのか、証明することができる。	問題を解く際に使った定義や定理を使う理由を自分なりに説明できる(発想の説明)。	他人の答案をみて、不足している点を指摘することができる。
1	扱った定義、定理を的確に述べることができる。	定義、定理を使って問題を作ることができる。	自分の論述が論理的に正しいのか判断することができる。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	第1章 数列(数B)	<ul style="list-style-type: none"> 数列の規則性を見出そうとする 等差数列, 等比数列の一般項や和を求められる Σ記号の意味を理解し, 計算することができる 階差数列や群数列を理解する 特定の漸化式において一般項を求められる 数学的帰納法を利用して証明ができる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな数列に触れる 数列の考えを他の分野の問題に応用する 漸化式を確率や図形の問題に応用する
	5	第1節 等差数列・等比数列		
	6	第2節 いろいろな数列		
	7	第3節 漸化式と数学的帰納法		
2	9	第2章 平面上のベクトル(数B)	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの和, 差, 実数倍を計算できる ベクトルの1次独立を理解する ベクトル方程式を用いて図形を考察できる 空間における直線や平面の位置関係を理解する ベクトルの和, 差, 実数倍を計算できる 内積の性質を理解し, 計算することができる ベクトル方程式を用いて空間図形を考察できる 	<ul style="list-style-type: none"> 内積の性質を理解し, 応用する ベクトルを図形の問題に応用する 空間ベクトルの1次独立を考察する ベクトルを空間図形の問題に応用する
	10	第1節 ベクトルとその演算		
	11	第2節 ベクトルと図形		
	12	第3章 空間上のベクトル(数B) 第1節 空間ベクトル		
3	1	第1章 複素数平面(数Ⅲ)	<ul style="list-style-type: none"> 共役複素数の意味を理解する ド・モアブルの定理を理解する 複素数平面を用いて点の周りでの回転を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 極形式を計算する。 和や積の図形的意味を考察する。 複素数平面を図形の問題に応用する
	2	第1節 複素数平面		
	3	第2節 平面図形と複素数		